

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●市民活力推進部		
	節	1	市民との協働によるまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。 行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	市民と行政がともに力を合わせ、役割分担を行い、課題解決に向け、自らが取り組んでいます。					

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 審議会等の委員に対する公募の割合	15.90%	—	—	—	—	20%	—	—	—	—	25%
	—	18%	19.8%	18.8%	20.9%	20.9%	20.1%	20.1%	22.0%	20.7%	—
② まちづくり出前講座の利用者数	13,499人	—	—	—	—	16,000人	—	—	—	—	20,000人
	—	17,947人	16,924人	15,018人	13,854人	2,191人	4,646人	5,643人	9,074人	7,400人	—
③ ボランティア・市民活動団体登録数	201団体	—	—	—	—	260団体	—	—	—	—	310団体
	—	222団体	235団体	229団体	225団体	268団体	258団体	240団体	245団体	238団体	—
④ NPO法人登録数	16団体	—	—	—	—	20団体	—	—	—	—	25団体
	—	22団体	22団体	22団体	21団体	21団体	22団体	22団体	22団体	19団体	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 協働によるまちづくりの推進	4,397	1	0	1	0	市民協働推進課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	4,397	1	0	1	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	6 新公共経営	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	1 市民との協働によるまちづくり		

評価主体が
推進する
施策の概要

協働によるまちづくりの推進

- 各種審議会や委員会等、市民が主体的に参画できる機会や場を拡充するとともに、生涯学習まちづくり出前講座等を活用し、市民との協働によるまちづくりを推進する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)
	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座は、140件の申込みと延べ7,400人の利用があった。 市民まつりについては、実行委員会との協働により開催し、127,000人の来場者があった。 協働のまちづくり推進事業助成金については、市民活動団体の3団体に交付し協働事業が実施された。 市民活動推進委員会では、市民活動団体に対する助成事業の審査のほか、やしお生涯楽習館の大規模改修（検討案）について審議した。

課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> 「協働」は、本市のまちづくりの基本理念にも位置付けられていることから、全職員が協働についての共通認識を持つ必要がある。また、協働についての市民への周知とともに、市民団体等の活動の広がりを協働につなげていく仕組みづくりが必要となっている。 出前講座については、同一利用者からの申請が多いことや利用回数が少ないメニューがあるなどの課題がある。より多くの市民に活用してもらうことができるよう、効果的なPRが必要となっている。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	出前講座については、引き続き利用者から好評を得ている。また、協働のまちづくり推進事業助成金の活用実績などの成果が上がっている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向か、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向か、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小

施策の 展開方針	(説明)
-------------	------

- 市民や市職員が共通認識を持って協働のまちづくりに取り組めるよう、協働に対する考え方を引き続き周知していく。
- 市民活動推進委員会等と連携して、市民活動の支援方策等について調査研究を行う。
- 出前講座を活用してもらえるよう効果的な周知を行うとともに、新たなメニューの募集などの調査研究を行う。

■重点事業（部で5事業まで）

施策コード 章 節 施策	施策の内容		事務事業
	章	節	
1 06 01 01 協働によるまちづくりの推進			協働のまちづくり推進事業
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●企画財政部	総務部
	節	2	市民に開かれたまちづくり		生活安全部	

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。 行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。また、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信頼関係が築かれています。

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標										
		実績										
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合		64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	70%
		—	48.7%	—	—	38.5%	—	—	35.3%	—	41.0%	
② やしお840メール配信サービスの登録件数		1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	3,000件
		—	2,179件	2,400件	2,704件	3,315件	3,971件	4,160件	4,105件	4,223件	4,315件	
③ 地域情報サービス数		—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	2件
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
④		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
⑤		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	0	1	0	1	0	総務課
2 広聴・広報の充実	30,905	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	25,960	2	1	0	1	情報政策課、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	56,865	5	1	3	1	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	6 新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	2 市民に開かれたまちづくり	評価者名	柳澤

評価主体が
推進する
施策の概要

広聴・広報の充実
・市民の意見及び要望等を市政に活かすため、市民意識調査や市民の声ボックス等の広聴活動を充実する。また、市政の情報を広報紙、ホームページ、やしお840メール配信サービス等の様々な媒体を通して広く市民等に提供するなど、広報活動を充実する。
情報交流の支援
・市民同士、また市民と行政が情報交流を行い、コミュニケーションを図れるよう、セキュリティを確保したネットワークを活用し、地域情報サービスを提供する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	広聴事業では、市民の声ボックス等により市民要望を把握するとともに、各種相談事業を行った。 広報事業では、広報紙の編集・発行、市ホームページの更新・維持管理、やしお840メール配信サービス、AIチャットボットの運用、パブリシティを行った。また、シティセールスプランに基づき、ホームページやLINEなどのSNSを活用し、効果的な情報発信に努めた。 地域情報化推進事業では、SNSを活用した地域情報のコミュニケーションシステムの調査・研究を行った。		
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある		
	市民への広報紙の配布は新聞折込が主な方法であるが、新聞を購読していない世帯が増加傾向にある。このため、新聞を購読していない世帯の方にも広報紙の情報を提供するため、公共施設や民間施設への広報紙の設置や、ホームページへの掲載、やしお840メール配信等により対応している。今後も、市民が適切に市政情報を取得できるよう、様々な手法を検討することが必要である。 地域情報化についての計画策定から相当の年数が経過し、すでにX（旧Twitter）やFacebookなどのコミュニケーション環境があるなかで、市民と行政が有用な情報交流を行うためのツールやDXをふまえたシステム導入の研究等が必要となる。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	地域情報化推進事業については、情報化基本計画の見直しやコミュニケーション環境の変化への対応などの課題に対し、遅れが見られるものの、広聴・広報事業については、おおむね順調に事業が実施されており、全体としては概ね順調と評価した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かって、順調に成果があがっている）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かって、やや遅れているが概ね順調）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	現状のまま推進	● 見直して推進	大幅に見直して推進
	→	■ 重点化(拡充)	■ 縮小 ■ その他
施策の 展開方針	(説明)		
	広聴事業については、市民の声ボックスや市民意識調査により、市民要望等の把握に努める。 広報事業については、広報紙、ホームページ、やしお840メール配信サービス、LINEを含むSNS等の様々な媒体により広く市民等に情報提供を行って広報活動の充実を図るとともに、市の様々な魅力を市内外に効果的に発信していく。 地域情報化推進事業については、国等の施策や現状のコミュニケーション環境をふまえ、DXという観点から改めて地域情報化の在り方を再考していく。		
■ 重点事業（部で5事業まで）			
施策コード	施策の内容		事務事業
章	節	施策	
1			
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●総務部	企画財政部
	節	2	市民に開かれたまちづくり		生活安全部	

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。 行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。また、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信頼関係が築かれています。							

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標								
	実績	実績	実績								
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合	64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	70%
	—	48.7%	—	—	0.385	—	—	0.353	—	—	—
② やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	3,000件
	—	2,179件	2,400件	2,704件	3,315件	3,971件	4,160件	4,105件	4,223件	—	—
③ 地域情報サービス数	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	2件
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	0	1	0	1	0	総務課
2 広聴・広報の充実	30,905	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	25,960	2	1	0	1	情報政策課、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	56,865	5	1	3	1	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	6 新公共経営	評価主体（部名）	総務部
	節	2 市民に開かれたまちづくり		

評価主体が
推進する
施策の概要

情報公開の充実

- 市民の知る権利の保障及び行政機関の説明責任を果たすとともに、個人情報の適正な取扱いに努める。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)
	<ul style="list-style-type: none"> 情報公開・個人情報保護事務は、法律や条例に基づき適正な運用を行っている。 個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、八潮市個人情報保護法施行条例及び八潮市個人情報保護法施行条例施行規則を制定し、令和5年4月1日に施行した。

課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> 通常業務の著しい停滞等を招くおそれのある大量又は頻繁な公文書の開示請求等への対応について課題がある。

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<p>情報公開制度により市民の知る権利を保障し、個人情報保護制度により個人情報の適正な取り扱いを確保している。</p> <p>両制度を適正に運用することで、公正で市民に開かれた行政の推進に資するとともに、個人の権利利益の保護に資することに努めている。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かって、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かって、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 → <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	(説明)

引き続き、個人の権利利益の保護に資するため、個人情報保護制度及び情報公開制度の適正な運用に努める。

■重点事業（部で5事業まで）

施策コード 章 節 施策	施策の内容	事務事業				
		1	2	3	4	5
1 06 02 01	情報公開の充実・個人情報の保護	情報公開・個人情報保護事務				
2						
3						
4						
5						

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●生活安全部	企画財政部
	節	2	市民に開かれたまちづくり		総務部	

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。 行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	※●は評価主体

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標							
		実績	実績	実績							
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合	64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	70%
	—	48.7%	—	—	0.385	—	—	0.353	—	—	—
② やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	3,000件
	—	2,179件	2,400件	2,704件	3,315件	3,971件	4,160件	4,105件	4,223件	—	—
③ 地域情報サービス数	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	2件
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	0	1	0	1	0	総務課
2 広聴・広報の充実	30,905	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	25,960	2	1	0	1	情報政策課、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	56,865	5	1	3	1	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	生活安全部
	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	向

評価主体が
推進する
施策の概要

1. 情報交流の支援 駅前出張所管理・サービス事業については、住民異動届の受付、印鑑登録及び戸籍の届出受付、住民票・印鑑証明・戸籍・各種税証明の交付、市税及び税外諸収入の収納、児童手当及びこども医療等の届出、一般旅券の申請受理及び交付等の多くの業務を取り扱うことにより市民サービスの向上を図る。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	<ul style="list-style-type: none"> 窓口において13課21事業134業務を取り扱った。 各種証明書の交付件数は、住民票等12,698件、印鑑証明6,266件、戸籍・除籍謄抄本等4,100件、税証明等4,014件、その他の証明195件であった。 市税及び税外諸収入の収納件数は、市税4,051件、税外諸収入2,241件であった。 一般旅券の申請件数は2,415件であった。 			

課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> 取扱業務が市民生活に密接し、複雑多岐にわたる業務を取り扱っていることから、職員の経験値によって差が生じない状況が望まれる。 変則的な勤務体制の中、限られた人員で対応しなければならないため、職員のローテーションにも課題である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	取扱業務が複雑多岐にわたるが、日頃から関係各課と連携を密にしながら、市民サービスを実施している。また、窓口での取扱業務数や取扱件数が多いことから、市民の利便性向上が図られている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小
(説明)	<ul style="list-style-type: none"> 限られた人員で複雑多岐にわたる業務を取り扱っているため、マニュアル作成や事務引継を徹底する。 市民サービスを向上させるため、職員向け研修等を実施し、個々のスキルアップを図る。 本庁市民課と常に情報共有を図り連携強化に努める。 市民サービスを向上させるため、課題となっている市民課以外の業務について担当課と調整を行いながら改善するとともに、事務の効率化を図る。 		

■ 重点事業（部で5事業まで）				
章	節	施策コード	施策の内容	事務事業
			施策	
1	06	02	03 情報交流の支援	駅前出張所管理・サービス事業
2				
3				
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）
☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●企画財政部	総務部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。 行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	民間企業等のもつ経営手法を取り入れ、複雑化・多様化する市民ニーズに対し迅速かつ的確に対応することができる体制が構築されています。また、長期的な展望に基づき、健全で計画的・効率的な行財政運営を目指して取り組んでいます。						

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 行政評価において目標達成した事業の割合	87.10%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	100%
	—	86.9%	87.1%	85.5%	85.5%	93.2%	93.2%	93.5%	94.6%	94.9%	—
② 職員研修のコース数及び受講者数	53コース 809人	—	—	—	—	54コース 820人	—	—	—	—	55コース 837人
	—	56コース 725人	57コース 850人	53コース 892人	58コース 941人	34コース 455人	47コース 417人	49コース 741人	46コース 659人	56コース 745人	—
③ 女性職員向け研修のコース数及び受講者数	4コース 27人	—	—	—	—	4コース 40人	—	—	—	—	5コース 60人
	—	5コース 25人	4コース 29人	3コース 22人	2コース 22人	※新型コロナウイルスための中止	1コース 18人	2コース 53人	2コース 29人	2コース 37人	—
④ 標準財政規模に対する財政調整基金及び減債基金残高の割合	4.20%	—	—	—	—	10%	—	—	—	—	10%
	—	5.7%	7.5%	11.6%	14.4%	15.8%	18.7%	21.8%	20.7%	19.2%	—
⑤ 実質公債費比率	10.60%	—	—	—	—	9%	—	—	—	—	7%
	—	8.3%	7.5%	6.1%	5.4%	5.0%	6.0%	7.0%	7.4%	7.2%	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 計画的・効率的な行政の推進	30,960	6	2	4	0	企画経営課、アセットマネジメント推進課、総務課、契約検査課
2 行政組織の効率化と人材育成	32,613	4	2	1	1	企画経営課、人事課
3 行政事務の電子化	706,654	5	1	4	0	情報政策課
4 健全で柔軟な財政運営	206,053	7	5	2	0	財政課、市民税課、資産税課、納税課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	976,280	22	10	11	1	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	6 新公共経営	評価主体（部名） 評価者名	企画財政部 柳澤
	節	3 健全で計画的・効率的な行政の体制づくり		

評価主体が
推進する
施策の概要

- ・総合計画・基本計画に基づき、実施計画の策定及び行政評価を実施する。また、行政改革、事務事業の見直し及び行政組織・職員定数の見直しを行いながら、効率的、効果的な行政運営を行う。
- ・長期的視点に立ち、公営企業等も含めた経営の健全化を図るとともに、健全で柔軟な財政運営を推進する。また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく財政指標の改善や適正化を推進する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次八潮市総合計画・基本計画を管理するため、行政マネジメントシステムを有効に活用した。総合計画を円滑に進行するため、実施計画の策定及び行政評価を実施し、その結果を公表するとともに、事務量に応じた職員定数の決定を行った。 ・基幹系情報処理業務システムについては、標準仕様に準拠するシステムへの移行が求められており、現行システムと標準化システムの機能差異の確認及びシステム連携調整等の準備作業を行った。 ・財政健全化法に基づく令和6年度決算の健全化判断比率は、実質公債費比率7.2% (R5:7.4%) で0.2ポイント改善し、将来負担比率は55.4% (R5:53.5%) で1.9ポイント悪化した。 			

課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画を進行管理していくうえで、コスト意識や情報分析能力等が必要であるため、さらなる職員の意識改革をする必要がある。また、人口の増加や市民ニーズの多様化・複雑化に伴う事務量の増加に対応できる組織の検討が必要である。 ・基幹系情報処理業務システムの標準化に向け、担当課が主体となって業務の具体的な運用方法等を定めるとともに、ガバメントクラウド上の検証作業環境を整える必要がある。そのため、標準化を担う複数ベンダーとの調整及び関係課の作業スケジュールの進捗管理等を適切に行い、ガバメントクラウド環境を利用するための様々な準備を遅滞なく行うことが求められている。 ・実質公債費比率は前年度と比較して改善したが、新設小学校等の大規模建設事業の進捗により、将来負担率は前年度と比較して 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	いずれの業務も課題はあるものの、それぞれの業務について適切な管理を行い、順調に業務が行われている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向か、順調に成果があがっている）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向か、やや遅れているが概ね順調）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小

施策の 展開方針	(説明)
	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的・効果的な事業の実施を図るとともに、行政評価を実施し、事業の改善、市民満足度の向上に努め、基本計画に掲げた施策を計画的に実施する。行政改革については、取組状況の進行管理を行い、事務事業の見直しや業務改善を図る。また、行政組織・職員定数については、組織全体の事務量を把握した上で、毎年度組織・定数の決定を行う。 ・地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和3年9月1日施行）の趣旨を踏まえ、対象20業務システムの標準化に向け、関係課と連携を図りながら、標準化システムへの移行に取り組んでいく ・今後も、大規模な建設事業などが予定されているが、財政健全化法の趣旨を踏まえ、公債費の適正化を図るため、地方債の発行額については、実質公債費比率などの財政指標を踏まえつつ、後年度に過度な負担が生じないよう市債の抑制に努める。また、実質公債費比率だけでなく、経常収支比率や将来負担比率等の財政指標の動向に留意し、一般会計はもとより特別会計の健全な財政運営に努めていく。

■ 重点事業（部で5事業まで）

施策コード 章 節 施策	施策の内容	事務事業
1 06 03 01	計画的・効率的な行政の推進	計画行政推進事業
2 06 03 03	行政事務の電子化	基幹系情報処理業務管理事務
3 06 03 04	健全で柔軟な財政運営	財政健全化事業
4		
5		

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調、☆☆：概ね順調、☆：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●総務部	企画財政部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。 行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	民間企業等のもつ経営手法を取り入れ、複雑化・多様化する市民ニーズに対し迅速かつ的確に対応することができる体制が構築されています。また、長期的な展望に基づき、健全で計画的・効率的な行財政運営を目指して取り組んでいます。						

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 行政評価において目標達成した事業の割合	87.10%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	100%
	—	86.9%	87.1%	85.5%	85.5%	93.2%	93.2%	93.5%	94.6%	94.9%	—
② 職員研修のコース数及び受講者数	53コース 809人	—	—	—	—	54コース 820人	—	—	—	—	55コース 837人
	—	56コース 725人	57コース 850人	53コース 892人	58コース 941人	34コース 455人	47コース 417人	49コース 741人	46コース 659人	56コース 745人	—
③ 女性職員向け研修のコース数及び受講者数	4コース 27人	—	—	—	—	4コース 40人	—	—	—	—	5コース 60人
	—	5コース 25人	4コース 29人	3コース 22人	2コース 22人	※新型コロナ ウイルスため の中止	1コース 18人	2コース 53人	2コース 29人	2コース 37人	—
④ 標準財政規模に対する財政調整基金及び減債基金残高の割合	4.20%	—	—	—	—	10%	—	—	—	—	10%
	—	5.7%	7.5%	11.6%	14.4%	15.8%	18.7%	21.8%	20.7%	19.2%	—
⑤ 実質公債費比率	10.60%	—	—	—	—	9%	—	—	—	—	7%
	—	8.3%	7.5%	6.1%	5.4%	5.0%	6.0%	7.0%	7.4%	7.2%	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 計画的・効率的な行政の推進	30,960	6	2	4	0	企画経営課、アセットマネジメント推進課、総務課、契約検査課
2 行政組織の効率化と人材育成	32,613	4	2	1	1	企画経営課、人事課
3 行政事務の電子化	706,654	5	1	4	0	情報政策課
4 健全で柔軟な財政運営	206,053	7	5	2	0	財政課、市民税課、資産税課、納税課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	976,280	22	10	11	1	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	6 新公共経営	評価主体（部名）	総務部
	節	3 健全で計画的・効率的な行政の体制づくり		評価者名 荒浪

評価主体が
推進する
施策の概要

- ①職員の人材育成
 - ・職場内外の研修などを通して職員の能力の向上に努め、より良い市民サービスの提供に努める。
 - ・管理職に占める女性の割合を増加させるため、意識啓発を行うとともに、女性向け研修への参加機会を拡充する。
- ②市税の適正な課税及び徴収
 - ・市民税や固定資産税等の市税の適正な賦課及び徴収を行い、自主財源の確保を図る。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	①職員の人材育成では、人材育成基本方針に基づき、外部研修機関への派遣研修、職場外での集合研修、職場内での業務を通じた研修を行い、職員の能力向上に努めた。	②市税の適正な課税及び徴収では、市税の収入済額は、184億9,770万4,575円（R5：183億9,262万4,951円）、対前年度比1億507万9,624円、0.6%の増であった。	また、納税率は、現年度99.42%（R5：99.32%）で対前年度比0.10ポイント、滞納繰越分42.59%（R5：39.04%）で対前年度比3.55ポイント、市税全体98.73%（R5：98.64%）で対前年度比0.09ポイントとそれぞれ上回った。
課題	課題はほとんどない		
	● ある程度課題がある	大きな課題がある	①職員の人材育成では、研修時間の確保や多様な働き方を促進する観点から、新たな研修方法（Zoom等の使用）の導入を含めた効率的かつ効果的な研修に取り組む必要がある。

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	①職員の人材育成では、多様な働き方に対応できるよう新たな研修方法（Zoom等の使用）を導入することができた。また、職員一人当たりの研修参加日数が目標を上回ることができたため。 ②市税の適正な課税及び徴収では、適正・公正な賦課に努め、収納も個人市民税を除き、収入未済額を圧縮したため。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	現状のまま推進	● 見直して推進	大幅に見直して推進	
	→ ■ 重点化(拡充)	■ 縮小	■ その他	
施策の 展開方針	(説明)			
	①職員の人材育成では、外部研修機関での派遣に参加させるとともに、内部研修にあつては、行政課題、社会情勢に対応するものや職員のニーズにあったものを取り入れて内容を充実させる。	②市税の適正な課税及び徴収では、課税客体を的確に把握し、適正な課税に努める。	また、市税収納について、現年分を次年度に繰り越さず、効率的かつ効果的な徴収対策を実施して、自主財源である市税収入の確保に努める。	
■ 重点事業（部で5事業まで）				
施策コード	施策の内容		事務事業	
章	節	施策		
1	06	03	健全で柔軟な財政運営	市民税賦課事務
2	06	03	健全で柔軟な財政運営	固定資産税等賦課事務
3	06	03	健全で柔軟な財政運営	市税収納事務
4	06	03	行政組織の効率化と人材育成	人材育成推進事業
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調、☆☆：概ね順調、☆：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●企画財政部	総務部
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。 行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	誰もが公共施設等を安全で安心に利用しています。また、公共施設等を経営資源として捉え、有効に活用され、効率的に利用されています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① アセットマネジメントの取組の推進	「アセットマネジメント導入基本方針の策定」	—	—	—	—	—	「公共施設マネジメント基本計画」「公共施設マネジメントアクションプラン(行動計画)」の策定	—	—	—	—
	「八潮市公共施設マネジメント基本計画」の策定	—	—	—	—	—	「八潮市公共施設マネジメント基本計画」「公共施設マネジメントアクションプラン(行動計画)」の策定	—	—	—	—
②		—	—	—	—	—		—	—	—	—
③		—	—	—	—	—		—	—	—	—
④		—	—	—	—	—		—	—	—	—
⑤		—	—	—	—	—		—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	743,731	6	0	5	1	アセットマネジメント推進課、公共施設整備課、総務課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	743,731	6	0	5	1	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり	評価者名	赤間

評価主体が
推進する
施策の概要

- 将来的な人口動態や財政運営、市民要望などを的確に見極めた上で、公共施設を一つの経営資源として捉え、施設の統廃合や複合化・長寿命化・民間活力の活用方策等を含め、アセットマネジメントの各種取組を推進する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	<ul style="list-style-type: none"> 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン見直し版に則り、施設再編計画の進捗管理及び計画的な予防保全に基づく大規模改修の実施と合わせた施設改善の検討を行った。 旧中央職員住宅等解体工事を完了させるとともに、地盤変動影響事後調査に着手した。 各課からの依頼に基づき、市有施設における営繕業務を実施した。 令和5年度から引き続き、旧庁舎解体工事を実施したほか、新庁舎北側外構工事の設計業務、及び新庁舎周辺環境整備工事（道路、水路の改修）のうち東側歩道工事を実施した。 			
課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある	
	<ul style="list-style-type: none"> アセットマネジメントの計画的な改修実施の取組みをする上で、新施設整備、八潮市公共施設マネジメントアクションプラン見直し版に基づく施設の保全、突発的な修繕等、施設に関する財政負担の増加で、持続的かつ着実な実行が懸念されることから、公共施設の更新・統廃合・保全に必要な財源を確保することや事業費の平準化及び抑制が極めて重要な課題となる。 新庁舎の建設は完了したが、新庁舎整備事業として北側外構整備や周辺環境整備を含むシビックセンター形成によるまちづくりの展開等について検討する必要がある。また、市内で発生した道路陥没事故が新庁舎整備事業に与える影響についても、併せて検討する必要がある。 			

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	施設を良好な状態に保つため施設管理者からの依頼工事、修繕等について調整を図りながら適切に実施した。公共施設の跡地等の有効活用で財源創出につながる貸付を実施した。 新庁舎整備事業については、シビックセンター形成によるまちづくりの展開等について引き続き検討する必要があるが、事業全体としては概ね計画どおりに実施することができた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、順調に成果があがっている）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）
☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小
施策の 展開方針	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 全体最適の視点を念頭に施設再編を検討するとともに、計画的な改修が可能となる仕組を構築するため、財源を確保して、実施計画との連携を強化し着実に確保するための仕組を構築するとともに、廃止予定の公共施設の跡地利用により財源を生み出すことを検討する。また、財政負担の軽減を目指し、公共施設の整備・改修及び修繕等を実施の際には、民間活力による実施について積極的に検討する。 現在の各公共施設を取り巻く状況を把握し、八潮市公共施設マネジメントアクションプラン見直し版を踏まえ、施設に関する実施事項の優先順位を判断する。 営繕の取組みでは、維持管理費の削減やサービス水準を維持・向上させながら、公共施設再編計画及び公共施設中長期保全計画に位置付けられた施策を着実に実施していく。 新庁舎整備の取組みでは、令和6年度に引き続き旧庁舎解体工事を実施し、工事完了後、ただちに新庁舎北側外構工事を実施するほか、新庁舎周辺環境整備を関係各所と協力して実施することで、新庁舎のグランドオープンに向けた取組みを進めていく。 		
■ 重点事業（部で5事業まで）			
施策コード	施策の内容		事務事業
章	節	施策	
1	06	04	01 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用 新庁舎整備事業
2	06	04	01 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用 アセットマネジメント推進事業
3	06	04	01 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用 公有財産管理事業
4	06	04	01 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用 営繕・施設管理事業
5	06	04	01 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用 庁舎管理事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】一：課題はほとんどない、〇：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調、☆☆：概ね順調、☆：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●総務部	企画財政部
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。 行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	誰もが公共施設等を安全で安心に利用しています。また、公共施設等を経営資源として捉え、有効に活用され、効率的に利用されています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① アセットマネジメントの取組の推進	「アセットマネジメント導入基本方針の策定」	—	—	—	—	—	「公共施設マネジメント基本計画」「公共施設マネジメントアクションプラン(行動計画)」の策定	—	—	—	—
	「八潮市公共施設マネジメント基本計画」の策定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
②		—	—	—	—	—		—	—	—	—
		—	—	—	—	—		—	—	—	—
③		—	—	—	—	—		—	—	—	—
		—	—	—	—	—		—	—	—	—
④		—	—	—	—	—		—	—	—	—
		—	—	—	—	—		—	—	—	—
⑤		—	—	—	—	—		—	—	—	—
		—	—	—	—	—		—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	743,731	6	0	5	1	アセットマネジメント推進課、公共施設整備課、総務課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	743,731	6	0	5	1	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	総務部
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり	評価者名	荒浪

評価主体が
推進する
施策の概要

建築基準法、ビル管理法等関係法令に基づき、施設の適切な維持管理を実施する。また、施設の機能を保持し、快適な執務環境を維持する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	庁舎について、主に総合管理業務委託により、法令に基づく機械設備の保守点検を行うとともに、施設の適切な維持管理を行った。		
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある		
	<p>庁舎管理にあたり、快適な執務環境を維持しつつ、適正な消費電力となるよう努める必要がある。 また、庁舎運用において、日頃から躊躇、落下防止などの安全配慮を行うとともに、災害時においても来庁者及び職員の安全が確保されるよう、適切な対策を行っていく必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	新庁舎移転に伴い、業務効率化が図られたことが多い反面、新たな課題も発見されている。 現在のところ、業務を停滞させてしまうほどの大きな混乱はないが、今後、少しずつ課題を解決していく必要がある。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かって、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かって、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	現状のまま推進	● 見直して推進	大幅に見直して推進
	→	■ 重点化(拡充)	■ 縮小
施策の 展開方針	(説明)		
	<p>総合管理委託業者と日々の業務報告や課題共有を行いながら、庁舎を安全に使用できるよう、法令等に基づく施設・設備点検などを実施し、庁舎の適切な維持に努めるとともに、コストを最小限に抑えるよう、委託内容の精査を行っていく。</p>		

■ 重点事業（部で5事業まで）

施策コード 章	節	施策	施策の内容	事務事業
1	06	04	01 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	庁舎管理事業
2				
3				
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】一：課題はほとんどない、〇：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調、☆☆：概ね順調、☆：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●企画財政部	市民活力推進部
	節	5	広域的な連携体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。 行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	関係自治体との協力関係が強化され、広域的な行政サービスが提供されることにより、市民が利便性の高い生活を送ることができます。		

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標										
	実績										
① まんまるよやくの登録者数（八潮市民）	3,045人	—	—	—	—	3,600人	—	—	—	—	4,000人
	—	3,297人	2,189人	2,996人	2,127人	2,135人	2,175人	2,154人	2,278人	2,202人	
②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 広域的な連携の強化	6,746	2	0	2	0	企画経営課、市民協働推進課
2 県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	0	1	0	1	0	企画経営課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	6,746	3	0	3	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	6 新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	5 広域的な連携体制づくり		評価者名 柳澤

評価主体が
推進する
施策の概要

広域的な連携の強化
 ・道路・交通網の整備や情報通信技術の進展により、行政の圏域や枠組みを越えて市民活動が行われ、市民ニーズが複雑化・多様化していることから、近隣自治体との広域的な連携体制をつくることによって、より効率的かつ効果的な行政サービスが提供されるよう広域的な行政課題等について調査研究を行う。
 ・近隣5市1町による埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、広域的な行政課題の解決に向けての調査研究を行う。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)
	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、婚活まんまるバスツアー及び職員研修会等を実施した。 第3次埼玉県東南部都市連絡調整会議基本指針の検討を行った。 まんまるよやすく専門部会やまんまるよやすくシステム検討会議等を通じて、まんまるよやすくの運用や次期まんまるよやすくシステムの導入に係る運用方法や利便性の向上等についての検討を行った。

課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>5市1町の抱える行政課題について調査研究を行うこと等により、広域連携の効果をより高めていく必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	5市1町の公共施設の利用条件などについては課題があるものの、埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、広域の連携事業や広域の課題に対する調査・研究は順調に実施されている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向か、順調に成果があがっている）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向か、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小

施策の 展開方針	(説明)
-------------	------

5市1町の調和の取れた発展を目指し、広域的な行政課題について調査研究を行い、引き続き広域的な連携を図る。

■重点事業（部で5事業まで）					
章	節	施策コード	施策の内容		事務事業
			施策	内容	
1	06	05 01	広域的な連携の強化		広域行政推進事業
2	06	05 02	県及び他市区町村との協力関係の構築・強化		広域協力体制構築事業
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向か、順調に成果があがっている）
 ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●市民活力推進部	企画財政部
	節	5	広域的な連携体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。 行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	関係自治体との協力関係が強化され、広域的な行政サービスが提供されることにより、市民が利便性の高い生活を送ることができます。	

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標										
	実績										
① まんまるよやくの登録者数（八潮市民）	3,045人	—	—	—	—	3,600人	—	—	—	—	4,000人
	—	3,297人	2,189人	2,996人	2,127人	2,135人	2,175人	2,154人	2,278人	2,202人	
②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 広域的な連携の強化	6,746	2	0	2	0	企画経営課、市民協働推進課
2 県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	0	1	0	1	0	企画経営課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	6,746	3	0	3	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	5	広域的な連携体制づくり	評価者名	小林

評価主体が
推進する
施策の概要

広域的な連携の強化

- ・埼玉県東南部都市連絡調整会議による公共施設の相互利用を進める。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)
	まんまるよやく（埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム）の安定的な運用に努めるとともに、現システム利用者カードの更新制度を周知し、利用者登録の整理を行った。

課題	● 課題はほとんどない ● ある程度課題がある ● 大きな課題がある
	次期のまんまるよやくシステム（埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム）については、操作性の改善のほか、複数回の対面で手続を行う利用者限定解除申請、口座振替に限られている使用料の支払いなどについて検討するとされており、本市でも各公共施設の対応が必要となっている。

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	令和3年11月の新システムに移行後も特に大きな問題はなく、安定的に運用されている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かって、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かって、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進 ● 見直して推進 ● 大幅に見直して推進
	→ ● 重点化(拡充) ● 縮小 ● その他

■重点事業（部で5事業まで）

施策コード 章 節 施策	施策の内容	事務事業			
1	06	05	01	広域的な連携の強化	広域連携事業
2					
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ